償還期ノ同一ナル國債ノ記號ヲ統一スルノ案ニ就テ

〔一〕範圍

既發行並將來發行ノ分ニ付實行

(一)證券ニ發行年ヲ記載シ得ザルコトトナルヲ以テ様式改正ヲ要ス

(イ)臨時國庫證券ハ券面ニ發行年ノ記載ナシ

(ロ)社債券ニ付テハ商法ハ社債原簿ニ發行年ヲ記スルコトヲ規定スルモ證券ニハ之ヲ要求セズ

(二)登錄簿ハ起債年ニ依リテ分チ得ザルコトトナルヲ以テ國債規則(第二十四條)ノ改正ヲ要ス

〔二〕既發行分ノ統一

昭和　年　月　日

(一) 實行ノ時期

第一案　利盡引換ノ時ヨリ實行

第二案　即時實行……數記号ノ内一記号ヲ特定スルカ新記号ヲ創定スルカニ依リ豫備證券ノ一部又ハ全部ヲ不用ニ帰セシムル欠点アリ

(二) 證券ノ記號

(イ) 利盡引換ノ時ヨリ實行ノ場合

第一案　數記号ノ内一記号ヲ特定

第二案　新記号ヲ創定……證券臺帳新設ノ手數アリ

(ロ)即時實行ノ場合

第一案　數記号ノ内一記号ヲ特定シ該證券ヲ使用……豫備證券ノ發行年ヲ抹消スル手數アリ尚他ノ記号ノ豫備證券ヲ不用ニ帰セシム

第二案　新記号ヲ創定シ新證券ヲ使用……證券臺帳新設ノ手數アリ尚豫備證券全部ヲ不用ニ帰セシムルノ欠点アリ

〔三〕將來發行分ノ統一

(一)證券

同一償還期ノ既發國債ノ豫備證券ヲ使用……

昭和　年　月　日

日本銀行

既發國債ノ利盡ニ近キ時新規ニ發行スル國債ニ
付テハ發行後直チニ利盡引換ノ年數アリ之ヲ
避ケントスレバ同種國債ニシテ利盡時期ヲ異ニスル
二様ノ證券併存シ危険アリ

(二) 初期利子

(イ) 初期利子ニ對シテハ添付利札ヲ附ス

(ロ) 初期利子支拂期前ノ登錄ニ付テハ之ヲ除外ス……

……初期利子支拂期前ニ於テ國債ニ關スル法律第
四條並大藏省告示第六十五號(大正十一年)所定ノ除却
停止期間前ニ登錄除却ノ請求アリタル時ハ之
ヲ拒ミ得サルヲ以テ 登錄額ノ内容ヲ明ニスル方

昭和　年　月　日

法ヲ構ズルコトヲ要ス　尚除却請求ニ當リ「何年何月何日登録」ノ分ナルコトヲ表示セシムルノ要アルニ至ルコトアリ

(四) 利益

(一) 既發行分ノ統一ニ依リ證券取扱上一層ノ注意ヲ要スルコトトナルモ證券製造上多大ノ利益アリ

(二) 登録國債口座ノ轉記取纏、利子支拂原票書換ノ手數アルモ　口座並支拂原票ノ減少ニ加ヘ記帳簡易ノ利益アリ

(五) 參考例

(一) 五分利國庫債券(第四十二回)ハ昭和二年七月三十日ヨリ

昭和　年　月　日

三年三月三十一日迄ノ間ニ七回ニ亘リ預金部引受ノ方法
ニ依リ發行セラレ償還期ハ昭和十六年九月一日……
發行年ハ昭和二年ト定メラル（昭和三年三月三十一日發行ノモ
ノアルニモ拘ラス）
(二)大藏省證券ハ發行日ヲ異ニスルモ期日同一ナル分
ニ對シテハ同一記号ヲ附ス

昭和　年　月　日

61

昭和　年　月　日

昭和八年七月

英佛公債ノ低利借替ノ件

酒井私録

日本銀行

英佛公債ノ低利借替ノ件

英國公債ノ低利借替

(一)四分半利付大藏省債券ノ借替

一九三二年三月十六日政府ハ四月十五日満期ノ四分半利付大藏省債券一一六百萬磅ニ對シ現金償還又ハ短期債借替発行ヲ為サザル旨ヲ発表シ所有者ニ對シ右債券一〇〇磅ニ付九七磅一二志半ノ割合ニテ四分半利付借替公債(一九四〇年—四四年償還)又ハ一〇七磅ノ割合ニテ四分利付コンソル公債(Consolidated Loan)(一九五七年償還)ヘノ乗換申込ヲ勧誘(ヲナシ)セリ因ニ右大藏省債券ノ大部分ハ政府

昭和八年七月拾四日

日本銀行

所有ニ係リ市場在高ハ極メテ少額ニ止マリシトノコトナリ

前記長期債ノ三月十六日相場左ノ如シ

四分半利付借替公債、　一〇二 1/4

四分利付コンソル公債　九三 3/4

(二)三分利付大蔵省債券ノ発行 (Treasury Bond)

一九三二年四月二十九日政府ハ三分利付大蔵省債券ノ発行ヲ発表セリ其ノ条件左ノ如シ

発行額　発表セズ（申込総額一二〇、一四〇、〇〇〇磅）

最低価格　九七磅一五志、入札ノ方法ニ依ル

償還期　一九四二年但一九三三年ヨリ毎年総額

ノ少クトモ一〇％ヲ抽籤償還ス
右発行ノ目的ハ四分利付大蔵省債券（一九三三年一
三三年償還）六四、五八五、〇〇〇磅ノ償還資
金（八月十五日償還実行）ニ充テ残額ハ大蔵
省証券ノ整理ニ供スル為ナリ

(三)五分利付軍事公債ノ借替

一、借替計画

一九二九年乃至四七年償還五分利付軍事公債ノ
借替ニ関シ一九三一年九月緊急予算編成ノ
当時財政法中ニ借替ニ必要ナル規定ヲ設ケ

一九三一年財政法第三節一九二九年乃至四七年償還五分利付軍事公債ニ関スル規定

昭和　年
日本銀行

ケ借替計畫アルコトヲ明カニセリ即チ本公債ニ付テハ一九二九年以後政府ハ三ヶ月ノ豫告ヲ以テ借替ヲ為ス権限ヲ有セルモ手続上種々不便アリシヲ以テ財政法中ニ左ノ規定ヲ設ケタリ（其他手続ニ付規定アリ）

5%軍事公債ハ内国債総額、（大蔵省証券・借入金・国民貯蓄債券等ヲ除ク）ノ約四割近クヲ占メタリ従テ之カ借換ニ付法律ヲ規定シタリ

ハ、豫告期間ヲ三ヶ月以上トシ且三ヶ月以内ニ公債所持人カ借替ニツキ異議ヲ申出テサリシ時ハ之ニ同意シタルモノト看做ス旨ノ権限ヲ政府ニ与フル

「継続申込（continuance application）及ビ償還申込（Repayment application）ナキ時ハ右期間満了ノ日ニ於テ継続申込ヲナス」

コト

2. 所持人ヲシテ其（償還期日後）償現公債ヲ所持セシメ（継続）單ニ利率及償還期ノミヲ変更スル権限ヲ政府ニ与フルコト

3. 借替ノ所作ニツキ生スル多クノ手続上ノ問題ヲ処理スルノ権限ヲ政府ニ与フルコト特ニ借替ノ受諾、公債ノ台有ヲ為ス受託者ノ保護ニ関スル権限ヲ政府ニ与フルコト（注）

4. 政府ハ特定ノ期日迄ニ又ハ特ニ延長シタル期間内ニ継続申込ヲ為シタル者ニ対シ現金Bonusヲ支払フコトヲ得ル権限ヲ与フルコト

5. 未払利子ニ伴フ費用（現金Bonusヲ含ム）ハConsolidated Fundヨリ支出スルコト

二、借替発表

一九三二年六月三十日五分利付軍事公債ヲ十二月一日償還シ三分半利付軍事公債ニ借替

（注）受託者、銀行其他ニ対スル保証。
(一) 継続申込ヲ為シタル者ハ之ニ依リ損失ヲ蒙ルコトナク、受託者ハ継続申込ヲ為スコトヲ得。
(二) 政府ハ未済ノハ之ガ取引為宜ナル手続ニ依リ為サシメタル場合ニ対シ補償ス。

昭和　年　月　日

日本銀行

(to convert into or, rather, "Continue in")ノ旨発表セリ)(同日英蘭銀行ハ公定歩合ヲ二・五%ヨリ二%ニ引下ゲタリ)

三、五分利付軍事公債未償還額(一九三二年六月末現在) 二、〇八五百万磅(発行総額(一九一七年発行)二、七五三、八四〇、六九九磅)

一九三二年三月末現在内債総額
七、五八二百万磅

四、借替条件

一、五分利付軍事公債ハ一九三二年十二月一日半期分利払ト同時ニ額面ヲ以テ之ヲ償還ス

二、右公債所有者ハ三分半利付軍事公債ニ乗換フルコトヲ得(原証券継続所持ノ形式ニテ)

3 七月三十日迄ニ借替承諾ノ旨ヲ(Notification ヲ desire to "continue")通知スル時ハ右通知接受後十四日以内ニ額面一〇〇磅ニ付一磅ノ現金Bonusヲ給与ス。右ニ對シテハ所得税ヲ免除ス。因ニ利子ノ五分ヨリ三分半ヘノ引下ハ資本利子ニテ生活スル者ニトリテ大ナル脅威ナルベク從テBonusハ一ハ其ノ緩和ノ為又一ハ軍事公債ノ時價ガ借替発表當時迄一〇二磅以上ヲ維持シ居リシニ(六月三十日相場一〇一 七/八)鑑ミ借替承諾者ニ對シ借替ニ伴フ損失負担ノ輕減ノ為与ヘラレタルモノナリトノコトナリ

5%軍事公債相場
一九三一年十一月央(同年最高) 一〇四 七/八
一九三一年九月金本位停止直後(同年最低) 九〇 1/2
一九三二年六月三十日(借替發表) 一〇一 七/八

日本銀行

昭和 年 月 日

4. 現金償還ヲ受ケントスル者ハ九月三十日迄ニ其旨ヲ申出ヅベシ若右申出ナキ時ハ借替ヲ承諾シタルモノト看做ス

5. 借替承諾者ニハ十二月一日以降年三分半ノ利子ヲ支払フ（一九三二年九月財政法ニ基キ新證券ヲ発行セズ單ニ利率及償還條件ノミヲ変更セルモノナリ）

6. 新軍事公債ノ利子ニハ旧軍事公債ノ利子ニ対スルト同様資本利子税ヲ賦課セズ

7. 政府ハ一九五二年十二月一日迄据置期後全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

8. 新軍事公債ハ旧軍事公債ト異リ相続税ニ代納ヲ許サズ

9. 外國人ニハ旧軍事公債ニ於ケルト同様新軍事公債ノ利子ニ対シ所得税ヲ免除ス

10. 新軍事公債特有ノ減債基金ハ之ヲ設ケズ

五、借替ノ勧奨並宣傳

イ、借替希望者ニ對シテハ一九三三年—三四年度所得税ハ軍事公債ニ関スル限リ其ノ前年度ノ収入実績即チ一九三二年—三三年度ノ収入利子五分ヲ査定ノ基礎トセズ

日本銀行

昭和　年　月　日

三分半ヲ其基礎トスルコト及申告ニ依リ償還損ハ所得査定ニ當リ収入ヨリ控除スルモ償還差益（発行價格九五時）ハ之ヲ査定ニ加ヘズ

2. 新聞又ハラヂオヲ通ジ國民ノ愛國心ニ訴ヘ空気ヲ全國的ニ借替ニ有利ニ導ク為メタリ

3. 五分利付軍事公債ハ大部分記名式ナルヲ幸ヒトシ約二百六十万人ニ上ル所有者ニ向テ一々書面ヲ以テ借替ノ承諾ヲ求メタルガ又関係向ヲ通リ各個人別口説キ落ニ力

メタリ）

6、取扱手数料並特典ノ拡張

イ、取扱銀行、ブローカー等ニ対スル手数料トシテ七月三十日迄ニ借替兼諾書ヲ提出セル分ニ対シテハ一〇〇磅ニ付五志八月一日以後九月三十日迄ニ提出セル分ニ対シテハ二志六片ヲ支給セリ

ロ、公債所有者ガ英国外ニ居住セザル為又ハ共有関係ニ在ルモノニツキテハ借替兼諾書ニ必要ナル署名ヲ取ルニ時日ヲ要シタル為兼諾書ガ七月三十日ニ間ニ合ハ

ザリシ分ニ對シテハ英蘭銀行ガ之ヲ事情已ムヲ得ズト認メタル場合Bonusヲ受領スル權利ヲ失ハザルコトトセリ

3. 七月三十日以前ノ取引ニ係ル分ニ對シテハ七月三十日以後借替承諾ヲ為スモ其申込ガ不當ニ遅延セザル限リ英蘭銀行ノ承認ニヨリBonusヲ受領シ得ベク又此分ニ對シテハ手數料モ亦五志ヲ支拂ハルルコトトセリ（七月十八日株式取引所側ニ発表）

七 起債禁制

政府ハ借替計畫ヲ妨グベキ起債抑制ニ對シCity

ノ協力ヲ求ムル為六月三十日借替計畫ノ発表ト共ニ次
ノ如キ聲明ヲナシ自ラモ亦貯蓄債券ノ賣出ヲ
一時中止ノ旨発表セリ「近ク倫敦市場ニ於テ新公債
ヲ募集セントスル計畫ヲ有スル者ハ本借替遂行
中数週間ハ之ヲ差控ヘ倫敦金融業者モ亦
政府ノ意ヲ体シ政府ニ協力スルヲ吝マザルベキ
コトヲ確信スルモノナリ」云々 然シテ借替成
績良好ナル上一部ニ「政府カ法律上何等ノ
権限ナキニ斯ル不自然ナル抑制ヲ不当ニ長引
カスハ不都合ナリ」トノ非難モアリシヲ以テ八月
二十九日、九月三十日相次デ緩和セラレタリ

昭和　年　月　日

八、借替成績

一九三二年六月末現在額　二、八八五百万磅

借替額　一、九二〇 〃

十二月一日現金償還ヲ要スル額　一六五 〃 （總額ニ対シ八%）

（四）二分利付大蔵省債券ノ発行

一、五分利付軍事公債借替手続進行中ナリシ一九三二年八月三十日左記國債ヲ十二月一日額面ヲ以テ償還スル旨発表セり

一九三二年乃至三四年償還四分半利付大蔵省債券　一四〇、百万磅

一九三五年乃至四五年償還四分半利付軍事公債　一三、 〃

合計　一五三、百万圓

然シテ軍事公債借替完了後ノ十月十日右償還資金ノ調達ニ関シ二分利付短期大蔵省債券ノ賣出ヲ発表セリ

二、発行條件

1. 発行額　一五〇、〇〇〇、〇〇〇圓

2. 発行價格　Par

3. 償還期限　一九三八年四月十五日但一九三五年四月十五日以後ハ抽籤其他ノ方法ニ依リ償還スルコトヲ得

4. 四分半利付大蔵省債券ハ額面ヲ以テ本債券ニ

乗換申込ヲ為スコトヲ得
本ノ発行ハ四分半利付大蔵省債券ノ借替
ヲ目的トセルモノナル故同債券所有者ノ乗
換応募ニ対シテハ同額ノ新債券ヲ与
フル外一〇〇磅ニ付十志ノ割増金ヲ贈与
スル規定ニシテ乗換価格ハ九九1/2ニ相
当ス
5、四分半利付大蔵省債券乗換応募優先
募入
6、取扱銀行又ハブローカーニ対シ乗換応募ノ
場合ニ限リ一〇〇磅ニ付二志六片ノ手数料

日本銀行
昭和 年 月 日

ヨ支拂ス

三、賣出成績
十月十二日ヨリ賣出サレタルガ應募超過セル故即日
締切ラレタリ

(五) 三分利付借替公債ノ発行
一、一九三二年十月三十日左記國債ヲ一九三三年
二月一日償還シ同時ニ三億磅ノ三分利付借替
公債ノ発行ヲ発表セリ
一九三三年乃至三五年償還五分利付大藏省債券　一一四百万磅
一九三三年償還四分半利付大藏省債券　一四　〃

合計　一二八、百万磅

然シテ三億磅ノ借替公債ハ一九三三年十二月一日並右一九三三年二月一日子拂ニ決定セル總額二九六百万磅ニ達スル諸公債ノ償還資金ノ調達ヲ目的トスルモノナリ即チ

（一九三二年十二月一日子拂）

五分利付軍事公債現金償還申請額　一六五　百万磅

四分半利付軍事公債（一九二五年—一九四五年）償還金　一三、〃

四分半利付大蔵省債券（一九三二年—一九三四年）償還金　一四〇、〃

小計　三一八、〃

（一九三三年一月一日子拂）

日本銀行

五分利付大蔵省債券（一九三三年－三五年）償還金　一一四、百万円

四分半利付大蔵省債券（一九三三年）償還金　一四、〃

小計　一二八、〃

合計　四四六、〃

右ノ内既ニ資金手当済ノモノハ一億五千万円（十月発行二分利付大蔵省債券手取金）ニ過ギザル為政府ハ残額二億九千六百万円ノ償還ニ充当スベク新借替公債ヲ発行セリ

二、発行条件

1、発行額　三〇〇、〇〇〇、〇〇〇円

2、発行価格　九七円半

昭和　年　月　日

3. 償還期限　一九五三年三月五日但一九四八年三月五日以後ハ三ヶ月ノ豫告ヲ以テ全部又ハ一部ノ償還ヲナスコトヲ得

4. 一口申込額　一〇〇磅ハ

三、郵便局扱

右三億磅ノ对外債ハ英蘭銀行ノ扱ニ係ルモノナルカ政府ハ別ニ小口投資家ノ需要ニ應スル為、郵便局、貯蓄銀行及 Trustee Saving Bank ヲ経由シテ小口ノ公債ヲ発行シ申込額ハ一口十磅トシ一人千磅ヲ超ユルヲ得サル

コトトシ（申込ト同時ニ全額拂込）尚此分ニ対シテハ
全額ノ割當ヲナスコトトセリ
四、賣出成績（?）
十一月三日ヨリ（?）賣出サレタルガ應募超過セル故即
日締切ラレタリ

昭和　年　月　日

日本銀行

（附）

四分半利付借替公債（Conversion Loan）ノ発行

一、政府ハ一九三〇年二月三日ニ一九四〇年乃至四四年期限四分半利付借替公債ノ発行ヲ発表セリ

一、発行額　不定、発行価格　額面一〇〇磅ニ付九五磅（二・レ二）現金応募ノ外一九三〇年五月十五日満期五分半利付大蔵省債券ノ乗換応募ヲ認メ大蔵省債券ノ額面一〇〇磅ニ対シ新公債一〇五磅一〇志ノ割合トセリ

一、右五月十五日満期五分半利付大蔵省債券ノ中約七九百万磅ハ一九二九年発行ノ一九四四年乃至六四年期限五分利付借替公債ノ応募ニ現金ニ代用セラレタレハ現在約五五百

昭和　年　月　日
日本銀行

日本銀行

万倚ヲ伯ク

昭和　年　月　日

佛國公債ノ低利借替

一、借替計畫

一九三二年九月十六日政府ハ急遽臨時議會ヲ召集シ借替法案ヲ提出シタルガ翌十七日可決セラレ十八日公布セラレタリ
(Loi du 17 Septembre 1932)

二、借替條件

八左記國債未償還額八百五十五億法ヲ十二月一日ニ償還シ四分半利付公債 (Rentes) ニ借替フ※ (Remboursement or Conversion)

一九一五年－一六年発行	五分利付公債 (Rentes)	一六、七三七	百万法
一九二〇年 〃	六分利付 〃	二五、六五五	

(一九三一年十月三十日現在)

※借替ハ次ノ割合ニ於テ行フ
一、一九一五－一六年五分利公債、一九二八年五分利公債五法ニ付新公債四法五〇。
二、一九二〇年、一九二七年六分利公債大法ニ付新公債四法五〇。
三、一九二七年六分利債券、一九二七年七分利國庫證券各五〇〇法ニ付新公債二二法五〇。

昭和 年 月 日

日本銀行

一九二七年発行　六分利付公債　一七、六六二

一九二八年〃　五分利付〃　一八、五〇〇

一九二七年〃　六分利付債券　四、九七〇

一九二七年〃　七分利付国庫証券　二七、九五〇

合計　八六、八七四百万法

一九三一年十二月末現在ノ債務額　二八三、〇四〇百万法

2、右国債ノ償還及借替ハ法律ヲ以テ償還割増金ヲ規定セラレタル一九二七年発行六分利付公債（割増二・三三%）（五〇〇法ニ付一一法六五）一九二七年発行七分利付国庫証券（割増三・一四%）（五〇〇法ニ付一五法七〇）ヲ除ク外額面ニテ之ヲ行フ

3 償還期限　一九三一年十二月十日迄据置、最

償還請求者ハ同時ニ
証券ノ提出ヲ要セス
但シ海外分ニ付テハ特別
ヲ設ケアリ

長七十五年以内ニ額面ヲ以テ抽籤又ハ取引
所ニ於ケル買入ノ方法ニ依リ償還ス

々 申込期間 九月十九日ヨリ二十四日ニ至ル六
日以内ニ所持人ハ借替承諾又ハ償還請
求ヲ為スコトヲ要ス 若シ右期間内ニ何等
手続ヲ為サザル者ハ借替承諾者ト見做ス
但海外所有者ニ在テ右期間内ニ佛國領事
館ニ償還ノ請求ヲ為シ其ノ証明書ノ交付ヲ受ケ
タルトキハ(全手数料)此ノ限ニアラス

5. 利子償ハ総テノ特別税ヲ免除セラル(一般所得税ハ賦課セラル)

三、小公償所有者ニ對スル特別取扱

日本銀行
昭和　年　月　日

公債所有者ガ通貨価値ノ切下ニ依リ所有公債ノ實價ノ八〇%ヲ失ヒタル點ニ鑑ミ將來借替ヲ為ス場合ニハ小公債所有者ニ對シ補償ノ(途)ヲ講ズベキコトヲ定メタル一九二八年ノ財政法ニ據リ本借替ニ於テ左ノ如キ取扱ヲナセリ

イ、一般所得税ニ付納税義務ヲ有セザル(免税其ノ方法)年齢六十歳以上ノ者ニシテ一九二〇年十二月三十日以前ニ一九五年―一六年發行五分利付公債及一九二〇年發行六分利付公債ヲ取得シ引續キ之ヲ保有スル者ハ所有公債ト引換ニ年金公債証書ノ交付ヲ請求スルコトヲ

得（借替ノ目的トナラザリシ　三分利付永久公債ハ
一九一七年発行四分利付公債及一九一八年発行
四分利付公債ニ付テモ同様ノ取扱ヲ為セリ）

rentes perpétuelles

2. 所有公債ニ対シ　一〇%ノ割増ヲ附シ一一〇%
ノ額面ヲ有スル年金公債証書ヲ交付シ右年
金公債証書所有者ハ年齢ノ老ユルニ従ヒ
金額（率）増スル所ノ年金ヲ九十歳迄受ク

年金率（額面千法ノ公債所有者ノ場合）

六〇才　一、一三法　四〇六.
六五才　一、一三四、　四七一.
七〇才　一、一六〇、　六三六.
七五才　一九〇、　一〇四.
八〇才　二二一、　一九九.
八五才　二五〇、　六〇九.
九〇才　二七二、　一二二

四、借替成績

借替総額　八五、五〇〇、百万法
内借遷請求額　四、五〇〇、〃
現金應募申込額　二、九〇〇　〃

昭和　年　月　日

日本銀行

調査資料

一、倫敦代理店監督役経済報告

一、仝　電報

一、伊國経済報告（倫敦監督役経由巴里駐在員報告）

一、海外経済彙報（調査局）

一、外國経済統計（仝）

一、エコノミスト

一、Chitty's Annual Statutes（調査局図書室備付第十門第三合号（三））

一、伊國官報（一九三二年九月一八日）（調査局欧米課備付）

昭和　年　月　日

昭和　年　月　日

日本銀行

Finance Act, 1931.

日本銀行

昭和 年 月 日

Finance (No. 2) Act, 1931.

Part III.

Provisions as to Five per Cent. War Loan, 1929–1947.

11. Right of Stockholders to continue holdings in five per cent. War Loan; requirement of application for cash repayments, etc.

12. Power to make regulations

13. Indemnity to trustees and others and to the Bank, etc.

14. Provisions as to instruments with respect to War Loan

15. Provisions as to cash bonus

16. Provisions as to income tax in certain cases

昭和　年　月　日

17. Provision for incidental expenses 附帯費用

18. Saving 保持 for statutory powers with respect to National Debt, including powers of Treasury as to arrangements with non-residents 他住者

19 Interpretation

Finance (No. 2) Act, 1931.

Part III.

Provisions as to Five per Cent. War Loan, 1929–1947.

11.—(1) If notice is given in accordance with the prospectus dated the eleventh day of January, nineteen hundred and seventeen, of the intention of His Majesty's Government to redeem the five per cent. War Loan, 1929–1947 (in this Part of this Act referred to as "the Loan") and the notice includes a declaration that this Part of this Act is to come into operation, the following provisions

日本銀行

日本銀行

shall have effect:—

継続申込ノ説明

(a) The holders of any stock or bonds of the Loan (in this Part of this Act referred to as "stockholders") shall, on making an application in that behalf (in this Part of this Act referred to as "a continuance application") in accordance with the provisions of this Part of this Act, be entitled—

Stock ト Bond ノ区別不詳

所有者

債券所持ノ権能

(i) to have their holdings in the Loan continued therein after the date fixed by the notice for the redemption thereof (in this Part of

昭和 年 月 日

諸條件ノ変更ニ服從

this Act referred to as "the redemption date"), but subject to such immediate or gradual reduction in the rate of interest, and such modifications in the name and terms of repayment, and in the other conditions and incidents, of the Loan as may be specified in the notice;

and

Bonus stock又ハBondニ對スル權利

(ii) to have issued to them such bonus stock or bonus bonds, if any, to form part of the Loan as continued under this section, as may be specified in the notice;

現金償還ノ申込

(b) Stockholders desiring to receive on the redemption date repayment in cash in respect of their holdings must make an application in that behalf (in this Part of this Act referred to as "a repayment application") in accordance with the provisions of this Part of this Act;

債券又ハ償還申込ナキ分ノ債券トノ取扱

括弧内不譯

(c) If, in the case of any holding (not being the holding of the National Debt Commissioners corresponding to the holdings held on the Post Office Register) neither a continuance application nor a repayment application is in force at the

expiration of the period of three months next following the day on which the notice was published, the provisions of this Part of this Act shall have effect as if a continuance application had been made in respect of the holding on the last day of the said period.

償還申込取消 (2) A repayment application in respect of a holding shall, unless the Treasury in any particular case otherwise direct, be treated as revoked —

継続申込 (a) by the making of a continuance application

in respect of the holding at any time before the redemption date;

形式変更

(b) by changing the form of the holding or part thereof from stock to bonds or bonds to stock, or by any transfer of the holding or part thereof from any books or register to any other books or register, not being merely a transfer to or from the books of the Bank from or to the transfer by deed register;

Books register・同意不要

として不要

適用

無記名証券

(c) except in the case of a bearer bond, by the completion of any transfer of the holding,

so however, that where part only of the holding is transferred, the revocation shall only operate as respects that part.

継続償還申込ノ確定 (3) Save as provided by the last preceding subsection, continuance applications and repayment applications shall be irrevocable and shall bind the stockholders and their successors in title.

Cash Bonus支払ノ権限 (4) The Treasury may, if they think it desirable, undertake to pay cash bonuses to stockholders by whom continuance applications are duly made within such period as may be specified in the

undertaking or within such extended period as the Treasury may in any special case allow.

手続制定ノ権限 12.—(1) The Treasury may make regulations for carrying this Part of this Act into effect and in particular and without prejudice to the generality of the foregoing power—

申込方法 (a) for prescribing the manner in which and the persons to whom continuance applications or repayment applications are to be made and for specifying the evidence which may be accepted by those persons as to matters on which

the validity of such applications may depend;

所有者死亡、無能力者等ノ場合ノ申込人

(b) for specifying the persons by whom any such applications may be made in cases where any stockholder has died, or is outside the United Kingdom, or is of unsound mind, or is an infant, or is otherwise under disability, or where a notice in lieu of distringas (強制執行ノ代リ) is in force with respect to the holding;

共有者ノ場合ノ申込方 並 Cash Bonus ノ支払方

(c) for enabling continuance applications to be made by a majority of the stockholders in cases where the holding is held jointly by more

than two persons (including cases where the stockholders are trustees or are otherwise acting in a fiduciary (信託) character) and for authorising in any case payment of any cash bonus in accordance with the instructions of the persons making the application by reason of which the bonus is payable;

国債證券、証書類ノ処理方並有効期限ノ決定
(d) for prescribing the manner in which certificates, bonds and other documents with respect to holdings in the loan are to be dealt with and for determining how far such certificates,

bonds and documents are to be valid after the redemption date;

償還期日直前ニ於ケル移轉登錄ノ停止

(e) for enabling the books and the transfer by deed register of the Bank and the Post Office Register to be closed for a period immediately preceding the redemption date.

取扱手續ノ公布

(2) The Treasury shall forthwith publish in the London Gazette any regulations made under this section.

受託者其他ノ繼續中止ニ對スル補償

13.—(1) Persons who are by virtue of this Part of this Act authorised to make a continuance

application shall not be liable for any loss resulting from their making such an application or their not making a repayment application, and trustees and other persons acting in a fiduciary character are hereby expressly authorised to make continuance applications.

銀行其他ニ對スル補償 (2) The provisions of this Part of this Act shall be a full and sufficient indemnity and discharge to the Bank and the officers of the Bank, the Postmaster-General (郵便長官) and the trustees and officers of Trustee Savings Banks for all

things done by them respectively in pursuance of this Act or of any regulations made thereunder.

條件名稱等變更ノ權利關係ニ對スル無影響

14.—(1) A power or direction to invest in the Loan shall not cease to be operative by reason only of changes in the name, conditions or incidents thereof effected under this Part of this Act.

代理權範圍ノ認定

(2) A power of attorney (代理權) authorising the transfer of a holding shall be taken as authorising the making of a continuance or repayment

application with respect to that holding, but a requirement in any instrument creating or regulating a trust that the trustees shall obtain the consent of any person before varying the investment of the trust funds, shall not be taken as requiring the trustees to obtain the consent of that person before making a continuance or repayment application.

Cash Bonusニ対スル印紙税免除

15.—(1) A warrant given by the Bank for the payment of any cash bonus payable under this Part of this Act shall be deemed to be

a cheque within the meaning of the Bills of Exchange Act, 1882 (o), and shall be exempt from stamp duty.

利害関係人ニ於ケル Cash Bonusノ支拂

(2) As between persons having any beneficial interest in a holding, any cash bonus payable in respect of the holding shall belong to the persons entitled to the income of the holding on the day when the bonus is payable.

證券業者ニ於ケル所得税

16. Where a holding in the Loan which is continued under this Part of this Act beyond the redemption date is in the beneficial ownership of a person who

昭和　年　月　日

is carrying on a trade which consists wholly or partly in dealing in securities, that person shall, if he gives notice in writing to the surveyor not later than the end of the year of 課税年度 assessment next following the year of assessment in which the redemption date falls, that he desires to be so treated, be treated for the purposes of the Income Tax Acts as having changed his investment on the redemption date, but if he gives no such notice he shall, except with respect to the tax on the interest on the holding,

be for those purposes treated, both then and thereafter, as not having changed his investment, and in that case the produce of any subsequent realization of the whole or any part of the continued holding (which holding shall, for the purpose of this provision be deemed to include any bonus stock or bonus bonds issued in respect of the continuance of the holding) together with any additional consideration, or the appropriate part of any additional consideration, received by him in connection with the continuance, shall

昭和　年　月　日

be treated as the produce of the realization of the whole or the appropriate part of the original holdings.

国庫整理基金ヨリ，経費（Cash Bonus等ヲ含ム）支弁.

17.—(1) Any expenses incurred in carrying this Part of this Act into effect (including sums paid on account of any cash bonus payable under this Part of this Act, or on account of any interest on the Loan which becomes payable in the financial year in which the redemption date falls instead of in the next following financial year) may, if the Treasury so direct, be defrayed

out of the Consolidated Fund or the growing produce thereof, instead of being defrayed out of the permanent annual charge for the National Debt as part of the annual charges in respect of interest and management.

国債整理基金ニ補填ス (2) For the purpose of providing for the issue of any sum directed to be defrayed out of the Consolidated Fund under this section, or for the repayment to that fund of all or any part of any sum so issued, the Treasury may raise money in any manner in which they are

昭和　年　月　日

authorised to raise money under and for the purposes of subsection (1) of section one of the War Loan Act, 1919 (P), and any securities created and issued to raise money under this subsection shall be deemed to have been created and issued under that subsection.

本法追加規定性 18. The provisions of this Part of this Act shall be in addition to and not in substitution for the provisions of any other Act conferring powers with respect to the National Debt, and in particular

昭和　年　月　日

the coming into operation of this Part of this Act shall not prevent the Treasury from making and carrying out arrangements under section sixty of the Finance Act, 1916 (9), with persons who are for the time being not ordinary resident in the United Kingdom for the surrender of stock or bonds of the Loan and the issue in lieu thereof of other securities.

本法中「銀行」意義

19. In this Part of this Act the expression "the Bank" means the Bank of England or the Bank of Ireland, as the case may require.

日本銀行

Chitty's Annual Statutes

Vol. 27 — Part II Page. 961

第十一門. 三八号. 十三. 二八九.

昭和 年 月 日

日本銀行

昭和　年　月　日

日本銀行

Loi portant autorisation de rembourser ou de convertir divers fonds publics.

(La loi du 17 septembre 1932)

昭和　年　月　日

Loi portant autorisation de rembourser ou de Convertir divers fonds publics.

Le Sénat et la Chambre des députés ont adopté,
Le Président de la République promulgue la loi dont la teneur suit :
代用国債 Art. 1er — Le ministre des finances est autorisé à rembourser (1) les rentes 5 P. 100 1915-1916, (2) 6 P. 100 1920, (3) 6 P. 100 1927 et (4) 5 P. 100 1928, (5) les obligations 6 P. 100 1927 et (6) les bons du

Trésor 7 P. 100 1927, ou à les convertir en
利回債、近実行期日 rentes 4 1/2 P. 100, portant jouissance (使用) du 1er
novembre 1932, à raison (割合デ) de:
代用価格 (1) 4 fr. 50 de rente nouvelle pour 5 fr. de rentes
5 P. 100 1915—1916 ou (4) 5 P. 100 1928, et
(2) pour 6 fr. de rente 6 P. 100 1920 ou (3) 6 P.
100 1927.
(5) 22 fr. 50 de rente nouvelle par obligation de
500 fr. 6 P. 100 1927 et (6) par bon de 500
francs 7 P. 100 1927.
償還価格 La Conversion aura (行ハレル) lieu au pair (パー), sous

償還割増金

réserve du payment de la prime de rembourse-ment prévue:

Pour les rentes 6 P. 100 1927, par l'article 3 du décret du 2 avril 1927.

Pour les bons du Trésor 7 P. 100 1927. par l'article 4 du décret du 21 janvier 1927

据置期間

Art. 2.— L'exercice du droit de remboursement de l'Etat est suspendu, pour les nouvelles rentes 4 ½ P. 100, jusqu'au 1er janvier 1939.

Art. 3.— Les nouvelles rentes 4 ½ pour 100

償還期限並方法

seront amortissables en soixante-quinze ans au maximum, soit au pair, par tirages au sort, soit par rachats en bourse.

分割整理組合

Elles seront réparties en deux tranches distinctes — A et B —, chacune d'elles étant inscrite à une section spéciale du Grand-Livre de la dette publique.

Dans chacune des deux tranches A et B, les nouvelles rentes 4 ½ P. 100 1932 pourront être divisées en séries.

利拂期

Les arrérages en seront payables à terme

昭和　年　月　日

到来セル　六ケ月
échu et par semestre. Toutefois, pour la tranche A, le premier coupon pourra correspondre à une période inférieure à six mois.

下　月

中心最少限度

記入し得ル

Le minimum de rente inscriptible est fixé à 22 fr. 50, sous réserve des dispositions transitoires qui seront fixées par décret, en vue de faciliter l'échange, contre des coupures du nouveau fonds, des coupures de rentes à convertir correspondant à un capital nominal inférieur à 500 francs ou

一時的　證書　以下

昭和　年　月　日

à un multiple de 500 fr.

免税其他寛典 Art. 4.— Tous les privilèges et immunités attachés aux rentes 3 p. 100 perpétuelles sont assurés aux nouvelles rentes.

Celles-ci seront ègalement exemples de toute taxe spéciale frappant les valeurs mobilières et bénéficieront de l'exonération prévue par l'article 25 de la loi du 16 avril 1930.

En outre, elles peuvent être affectées aux remplois et placements spécifiés par

l'article 29 de la loi du 16 septembre 1871.

公債ノ終身年金変換

Art. 5. — Les propriétaires de (A) rentes perpétuelles 3 P. 100, (B) 4 P. 100 1917, (C) 4 P. 100 1918, (1) 5 P. 100 1915—1916, (2) 6 P. 100 1920, qui en feront la demande, pourront obtenir l'échange de leur titres contre des titres de rente viagère, dans les conditions fixées par la convention ci-annexée, passée le 16 septembre 1932 entre les ministres des finances et du budget et la caisse autonome

昭和　年　月　日

d'amortissement. Les dispositions de cette convention, qui a également pour objet de régler les conditions dans lesquelles la caisse d'amortissement prêtera son concours au Trésor pour le remboursement et la conversion de rentes, obligations et bons susvisés, sont approuvées par la présente loi.

Il sera pourvu à la dépense supplémentaire visée à l'article 8 de la dite Convention au moyen de l'inscription au

budget de chaque exercice d'un Crédit ouvert au profit de la caisse autonome.

Les rentes viagères constituées dans les conditions prévues par le present article seront affranchies de l'impôt sur les traitements et salaires, pensions et rentes viagères. Elles seront, en outre, insaisissables, dans les conditions prévues par les lois des 8 nivôse an VI et 22 floréal an VII et cessibles dans les seules conditions prévues pour les rentes de la

Caisse nationale des retraites pour la vieillesse.

償換承諾ノ認定

Art. 6. — Tout propriétaire des rentes, obligations et bons visés à l'article 1er de la présente loi qui, dans un délai de six jours à courir de l'époque qui sera fixée par décret, n'en aura pas demandé le remboursement, sera considéré comme ayant accepté la conversion, sous réserve de l'application des dispositions spéciales visées à l'article 5 ci-dessous.

償還申込分ノ取扱

Art. 7. — Les remboursements demandés pourront être opérés par séries. Les rentes, obligations ou bons non convertis continueront à porter intérêt à leur taux originaire jusqu'à la date fixée pour leur remboursement.

借換申込分ノ取扱

Art. 8. — Les rentes, obligations et bons convertis jouiront des intérêts à leur taux originaire jusqu'au 1er novembre 1932.

申込ノ簡易化

Art. 9. — En ce qui concerne les propriétaires de rentes qui n'ont pas la libre et

complète administration de leurs biens, l'acceptation de la conversion ou la demande de remboursement sera assimilée à un acte de simple administration et sera dispensée d'autorisation spéciale, ainsi que de toute autre formalité judiciaire.

負担付ス債，償還請求

Art. 10.— Pour les rentes grevées d'usufruit, la demande de remboursement devra être faite par le nu propriétaire et l'usufruitier conjointement. Si elle est

faite par l'un d'eux seulement, le
Trésor sera valablement libéré en
déposant à la caisse des dépôts et
consignations le capital de la rente.
Si ce dépôt résulte du fait de
l'usufruitier, celui-ci n'aura droit
jusqu'à emploi qu'aux intérêts que la
caisse est dans l'usage de servir.
S'il résulte du fait du nu propriétaire,
ce dernier sera tenu de bonifier à
l'usufruitier la différence entre le taux

des intérêtes payés et celui de 4 1/2 P. 100. Toutefois, il n'est porté aucune atteinte aux stipulations particulières qui règlent les droits du nu propriétaire et de l'usufruitier.

借權償還費用/徴達 Art. 11.— Le ministre des finances est autorisé à pourvoir aux frais de trésorerie de l'opération et aux remboursements qui seraient demandés, soit au moyen de l'émission de nouvelles rentes 4 1/2 P. 100 1932 ou de bons et valeurs du Trésor,

soit au moyen de ressources mises à la disposition du Trésor par la caisse autonome d'amortissement, conformément aux articles 10 et 11 de la convention ci-annexée.

Art. 12.— Des décrets détermineront les conditions dans lesquelles s'effectueront le remboursement et la conversion des rentes, des obligations et des bons, le payement des primes de remboursement aux porteurs de rentes 6 P. 100 et de bons 7 P. 100 1927, l'émission des rentes

4 1/2 P. 100 et la répartition du nouveau fonds entre les deux tranches A et B.

國際債券差出特別扱 Art. 13.— Tous titres ou expéditions à produire pour le remboursement ou la conversion des rentes, des obligations et des bons susvisés, en tant qu'ils serviront aux opérations nécessitées par la présente loi et que cette destination y sera exprimée, seront dispensés du timbre et de la formalité de l'enregistrement.

Seront également dispensés du timbre

les quittances, reçus ou décharges délivrés à l'occasion des opérations de remboursement ou de conversion, ainsi que les affiches ayant exclusivement pour objet de porter lesdites opérations à la connaissance du public.

Art. 14.— L'article 60 de la loi du 22 mars 1924 est abrogé.

Art. 15.— Il est ouvert au ministre des finances, au titre du budget général de l'exercice 1932, en sus des crédits accordés

par la loi de finances du 31 mars 1932
et par des lois spèciales, des crédits
s'élevant à la somme totale de 20 millions
de francs et applicables aux chapitres
nouveaux ci-après:
Chap. 86 bis. — Frais divers occasionnés
par les opérations de remboursement et
de conversion de certains fonds publics. —
Personnel .... 6.400.000 fr.
Chap. 86 ter. — Frais divers
occasionnés par les opérations

de remboursement et de
conversion de certains
fonds publics.—

Matériel et impressions	13.600.000
Total égal	20.000.000

Il sera pourvu à ces crédits au moyen des ressources du budget général de l'exercice 1932. La portion non employée de ces crédits pourra être reportée par décret au budget de l'exercice suivant.

償債経費, 公表

Art. 16.— Un état détaillé des frais

de la conversion: remises diverses, commissions de banque, frais de publicité, avec les noms des parties prenantes, sera dressé et publié au Journal officiel.

大蔵大臣顛末報告

Art. 17. — Le ministre des finances rendra compte des opérations autorisées par la présente loi au moyen d'un rapport adressé au Président de la République et distribué au Sénat et à la Chambre des députés.

La présente loi, délibérée et adoptée par

le Sénat et par la Chambre des députés, sera exécutée comme loi de l'Etat.

Fait à Paris, le 17 septembre 1932.

Albert Lebrun.

Par le Président de la République :

Le ministre des finances,

Germain-Martin.

Le ministre du budget,

Maurice Palmade.

日本銀行

Annexe 略

昭和　年　月　日

日本銀行

昭和　年　月　日

日本銀行

Remboursement ou conversion de divers
fonds publics.

Le Président de la République française,
Vu (参照) la loi du 17 septembre 1932,
Sur (ニ由ッテ) le rapport du ministre des finances,

Décrète :

償還請求並証券提出期日 Art. 1er. — Les propriétaires de rentes 5 P. 100 1915-1916, 6 P. 100 1920, 6 P. 100 1927 et 5 P. 100 1928, d'obligations 6 P. 100 1927 et de bons du Trésor 7 P. 100 1927, qui désireraient en obtenir

昭和 年 月 日

le remboursement, devront en faire la demande et effectuer en même temps le dépôt de leurs titres dans les délais ci-après fixés:

請求期間

1° En France, en Algérie, en Tunisie et au Maroc, du 19 septembre 1932 au 24 septembre 1932 inclus;

2° Dans les colonies, dan les autres pays de protectorat et dans les territoires sous mandat, pendant six jours ouvrables consécutifs à partir de la promulgation

昭和　年　月　日

du présent décret ou des dispositions qu'il édicte.

Le délai prévu au paragraphe 1er du présent article sera applicable aux pays étrangers dans les conditions qui seront fixées par un décret spécial.

請求場所

Art. 2 — Les demandes seront reçues :

1° A Paris et dans le département de la Seine :

A la caisse centrale du Trésor public, rue de Rivoli.

昭和 年 月 日

A la recette centrale des finances de la Seine, place Saint-Sulpice.

A la caisse des receveurs percepteurs;

2° Dans les départements:

A la caisse des trésoriers-payeurs généraux, des receveurs particuliers des finances et des percepteurs;

3° En Algérie;

A la caisse du trésorier général, des payeurs principaux et des payeurs particuliers;

昭和 年 月 日

受付时间

4° En Tunisie:

A la caisse du trésorier général;

5° Au Maroc:

A la caisse du trésorier général;

6° Dans les colonies, dans les autres pays de protectorat et dans les territoires sous mandat:

A la caisse des trésoriers généraux et les trésoriers-payeurs.

Les caisses ci-dessus désignées seront ouvertes de neuf heures à

昭和　年　月　日

seize heures et le dernier jour jusqu'à vingt heures.

償還請求手続

Art. 3.— Les demandes de remboursement devront être établies sur des bordereaux du modèle de ceux qui seront mis à la disposition des intéressés aux caisses des comptables autorisés à recevoir les dépôts. Ces bordereaux seront revêtus de la signature du déposant ou de l'ayant droit qui devront, s'il s'agit de titres nominatifs,

faire certifier leur signature par un notaire ou un agent de change.

Il sera délivré aux déposants récépissé des titres déposés.

償還日及割増金ノ告示

Art. 4. — Un décret publié au Journal officiel fera connaître le mode et la date des remboursements ainsi que, pour les rentes 6 p. 100 1927 et les bons 7 p. 100 1927, le montant de la prime de remboursement acquise à cette date.

Le montant des coupons postérieurs

à la date du dépôt qui ne pourraient pas être représentés sera reversé au Trésor.

Art. 5.— Les intérêts, calculés aux taux originaires, afférents à la période comprise entre l'échéance du dernier coupon et la date fixée pour le remboursement seront payés lors de ce remboursement.

Toutefois, si la date fixée pour le remboursement était postérieure

昭和　年　月　日

à une ou plusieurs échéances de coupons des titres à rembourser, le payement desdits coupons serait effectué à l'échéance sur présentation du récépissé de dépôt. Mention serait faite de ce payment sur ledit récépissé.

償還請求ナキ証券ノ取扱方

Art. 6. — Les titres dont le remboursement n'aura pas été demandé dans les délais visés à l'article 1er cesseront de porter intérêt aux taux

originaires à partir du 1er novembre 1932 et seront, avec jouissance de cette même date, convertis en titres du nouveau fonds 4 1/2 P. 100 créé par l'article 1er de la loi du 17 septembre 1932.

Art. 7.— La conversion sera effectuée à raison de:

4 fr. 50 de rente nouvelle pour 5 fr. de rente 5 P. 100 1915–1916 ou 5 P. 100 1928, et pour 6 fr. de rente 6 P.

代用原稿

昭和　年　月　日

100 1920 ou 6 P. 100 1127;

22 fr. 50 de rente nouvelle par obligation de 500 fr. 6 P. 100 1927 ou par bon de 500 fr. 7 P. 100 1927.

借換公債ニ附スル [illegible] 利合、[illegible]

Art. 8. — Les intérêts des titres convertis, calculés aux taux originaires et afférents à la période comprise entre la dernière échéance et le 1er novembre 1932, seront payables à partir de cette dernière date et conformément au barème qui sera publié au Journal

昭和　年　月　日

日本銀行

officiel.

Ce payment sera effectué, pour les titres au porteur, contre remise du premier coupon à échoir à compter du 1er novembre 1932; pour les titres nominatifs, sur présentation du titre lui-même sur lequel mention sera portée dudit payement.

La portion de la prime de remboursement acquise à la date du 1er novembre 1932 pour les rentes 6 P. 100 1927 et les

利子支払

償還割増金支払

日本銀行

bons 7 p. 100 1927, soit respectivement
11 fr. 65 par 30 fr. de rente et 15 fr.
70 par bon de 500 fr., sera payée
en même temps et dans les mêmes
conditions.

新債形式

Art. 9. — Les nouvelles rentes 4 1/2 p. 100
seront délivrées sous la forme au
porteur ou nominative.

申込最少額

Le minimum inscriptible est fixé
à 22 fr. 50 de rente. Toutefois, il
pourra être créé des coupures de

昭和 年 月 日

日本銀行

4 fr. 50 de rente destinées à être remises en échange de coupures ou fractions de coupures de rentes 5 p. 100 ou 6 p. 100 actuellement en circulation dont le montant ne correspondrait pas au minimum inscriptible.

Les fractions de rente non inscriptibles seront remboursées en numéraire lors du dépôt des titres pour échange, à raison de 20 fr. par franc de rente 5 p. 100 et sur la base de 50 fr.

昭和　年　月　日

par 3 fr. de rente 6 p. 100.

Pour les titres nominatifs, le remboursement de la fraction complémentaire non inscriptible sera valablement effectué entre les mains des déposants sans justifications spéciales.

Art. 10.— La répartition des titres convertis entre les deux tranches du nouveau fonds sera effectuée comme suit:

Seront compris: dans la tranche A, les

日本銀行

昭和 年 月 日

日本銀行

titres provenant de la conversion des rentes 5 p. 100 1915—1916 et 6 p. 100 1920;

B組 Dans la tranche B, les titres provenant de la conversion des rentes 6 p. 100 1927 et 5 p. 100 1928, des obligations 6 p. 100 1927 et des bons du Trésor 7 p. 100 1927.

La quotité des coupures du nouveau fonds ainsi que l'époque et les conditions matérielles de l'échange des

昭和　年　月　日

日本銀行

titres convertis seront déterminées par arrêté ministériel.

Art. 11. — Les nouvelles rentes émises en conversion de rentes affectées à des cautionnements fournis à l'Etat, aux départements, aux communes, aux établissements publics et d'utilité publique recevront d'office la même affectation sous réserve de révision ultérieure des cautionnements dont les arrérages seuls sont affectés, vis-à-vis du service public,

昭和　年　月　日

au payement des créances garanties par le titulaire.

Les rentes actuellement affectées à des cautionnements relatifs à des valeurs adirées seront converties d'office avec la même affectation.

Art. 12. — Le ministre des finances est chargé de l'exécution du présent décret, qui sera inséré au Journal officiel.

Fait à Paris, le 17 septembre 1932.

Albert Lebrun.

Par le Président de la République :
Le ministre des finances.
Germain-Martin.

(Journal officiel
18 Septembre 1932.)

日本銀行

昭和　年　月　日

倫敦監督役來電

昭和八年 九月二八日發
九月二九日着

第九三號

Conversion Loan 一五〇、〇〇〇、〇〇〇磅、利率二半%、期限一九四四年乃至一九四九年、價格九四ニテ發行ノ旨發表、右ハ明年二月期限四半%利付Treasury Bond 五〇、七五七、〇〇〇磅ノ借替ノ爲メノ外明年四月期限四%利付Treasury Bondノ償還又ハ流動公債輕減ニ充ツル爲メトモ傳ヘラル、右借替ニ依ル利拂節約額年九三四、〇〇〇磅、市場氣受宜敷.

金縁証券強調、本邦財政ニ對スル懸念氣分ニ日本公債連日低落ノ處圓爲替ノ昂騰モ響キ本日稍引返ス、株式氣配概シテ良好、

米國「インフレーション」実行ニ付テハ有力ナル反對者アリ又十月五日ヨリノ對米戦時債務交渉ニ際シテハ通貨安定ニ関スル協議モ行ハレントノ報ヲ入レ大陸投機筋ノ英貨買埋メアリ英米爲替週初来引返ス。

金塊一三二志四片、「プレミアム」六片半。

組合銀行ガ大藏省証券ヲ 1/2% 以下ニテ買入レ

ナル態勢ニ割引歩合並ニ金融稍硬化模様、日債ハ/二%、割引歩合九/一六%。前週大蔵省証券入札利率、期限年末トナル為メ銀行方面ノ需要多ク七/三二%強ノ新低率示現。

「アルゼンチナ」ノ英国商品輸入税率軽減ニ関スル英亜通商協定補足協定成立、之ニヨリ英国ハ輸出品年額二〇、〇〇〇、〇〇〇磅中一四、〇〇〇、〇〇〇磅ニ付恩恵ヲ受クル由。

紐育監督役來電

昭和八年一〇月一一日發
一〇月一二日着

第一二五號

政府ハ四¼%第四回 Liberty Loan 約六、二五〇、〇〇〇、〇〇〇弗ノ内一、八八七、五〇〇、〇〇〇弗十月十五日豫告、明年四月十五日迄ニ償還ニ決定、新規公債募集條件三¼%（但最初ノ一年四¼%）、期限十二年但シ十年後 Callable、現金應募ハ五〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗ニ限リ募集價格一〇〇弗ノ由。

弗連日騰リ、磅四・六六六。

昭和　年　月　日

米國自由公債の低利借換計畫發表
期限十二年十九億弗

昭和八年拾月拾□日

朝

【ニューヨーク特派員十一日發】ワシントンの大藏省では十一日突然四分二厘五毛利付第四回自由公債の約三分ノ一の借替計畫を發表した、即ち現在約六十二億ドルばかりある第四回自由公債中十九億ドルだけを來年四月十五日に償還することゝしこれが償還資金を得るために來る十月十五日を以て期限十年乃至十二年利子歩合は最初の一年間は四分二厘五毛それ以後は三分二厘五毛の新公債を發行し第四回自由公債所有者には平價で借替應募を許し尚五億ドルばかりの現金應募を政府では目論でゐる、かゝる多額の低利借替額は政府當局が少くとも當分は健全通貨政策で進まんとする意思を表示してゐると市場では解してゐる、尚新公債の現金應募價格は百〇一ドル半とする由だが新公債がプレミアム付で賣たされるのはこゝ數年間無かつたことである、尚議會のインフレブロツクは公債の期限が來たら不換紙幣を發行して償還すべしと唱へてゐたのに對する政府の答へが今回の借替計畫だと見られてゐる

ニューヨーク本社特電【十一日發】ニューヨーク財界では今回政府が發表した自由公債の償還計畫に多大の注目を拂つてゐる、一部ではこれをもつてインフレ政策の中止であると解し、他方政府が償還は三分二厘五毛利附の新公債もしくは現金をもつて行ふと證明したことにつき、もし現金拂ひの場合は如何なる通貨をもつて支拂ふかといふことに興味がそゝがれてゐる、しかしてこれ等の疑問を政府が明確にすることを要求し、今やワシントン當局連は各方面からつめかけた新聞記者金融代表等にとりまかれてゐる形である

昭和八年拾月拾參日

Liberty Bonds Called In

Rengo

WASHINGTON, October 11.—The Treasury today called in the first installment of the Fourth Liberty Loan bonds issue to the amount of $1,875,000,000, maturing this year. The total amount of the issue is $6,268,000,000, carrying interest at 4¼ per cent.

Simultaneously, a new issue of 12-year bonds was announced, of which $500,000,000 will be offered for cash at a price of $101.50 and the remainder exchanged for the Fourth Liberty Loan bonds turned in for redemption. The new bonds will bear 4¼ per cent interest the first year and 3¼ per cent in the following years.

昭和八年拾月拾□日

アドバタイザー

日本銀行

日本[illegible]行